

SEISMIC DAMAGE SIMULATION

シミュレーション
地震被害
地被

結果報告 **建物被害編**



杉並区

平成29年12月

目次

I. シミュレーションの特徴	1
1. はじめに	2
① 背景と目的	2
② 留意事項	2
③ 本資料の見かた	2
2. 前提条件	4
① 想定地震	4
② 想定するケース(季節、時刻、風速)	4
③ 50mメッシュによるシミュレーション	4
④ 地盤のモデル化	5
⑤ 建物等の前提条件	5
II. シミュレーションの結果	7
1. 東京湾北部地震を想定した震度予測	8
2. 全壊等被害	10
① 全壊	12
② 半壊	14
③ 液状化	16
3. 焼失被害	18
① 焼失 冬・5時・4m/s	20
② 焼失 冬・12時・4m/s	22
③ 焼失 冬・18時・4m/s	24
④ 焼失 冬・5時・8m/s	26
⑤ 焼失 冬・12時・8m/s	28
⑥ 焼失 冬・18時・8m/s	30
4. 人的被害	32
III. 感震ブレーカー	33
1. 電気火災と感震ブレーカー	34
2. 感震ブレーカー設置の効果	36
おわりに	38